

浦高同窓会、動き出した初冬の陣!

●浦高同窓会「令和5年度第2回理事会」

10月28日(土)は浦高同窓会「令和5年度第2回理事会」でした。議題は3つで、事業計画等検討委員会が検討してきた「浦高同窓会の事業計画等に関する検討結果」の報告と意見の収集、「埼玉県男女共同参画苦情処理委員による勧告」の内容説明と対応に関する意見の集約、令和7年度会員名簿の作成についての3つの議題でした。

【議題】

1.「事業計画等検討結果」の報告と意見の収集

事業計画等検討委員会(7名の委員)は4月16日から7月2日までに、中長期的な同窓会の事業計画、財政計画について課題と解決方向の検討を行い正副会長に報告し、正副会長からの意見が付されたので理事会にて報告するものです。

【全体的問題点と解決策】

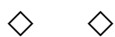
- ① 予算及び決算説明書について、事業毎に年度対比できるように工夫することで分かりやすくする。
- ② 地域職域同窓会に対する支出については、規程を設けて補助の範囲を明確にする。
- ③ 母校及び在校生への支援については、母校学校側代表者と同窓会が話し合う場を設けて必要となる支援活動を実施する。
- ④ 現在の引当金については、対象とする事業及び事業計画等を明確にする。

【個別事業の問題点と解決策】

- ① 浦高百年の森事業については、在校生等に対するPRとともに中長期の事業計画を合意する。
- ② 麗和ゴルフ会への補助は、同窓会事業としての委託事業に切り替える。
- ③ 会報「麗和」発行事業及び名簿発行事業については、デジタル化について検討を行い、将来的にはデジタル化による経費削減を検討する。

【その他規程】

- ① 慶弔規程、② 旅費規程、③ 同窓会設立補助規程
- 【結論】次回以降の理事会で議案として一つひとつ審議し採決する。



2. 埼玉県男女共同参画苦情処理委員勧告の対応

8月30日に埼玉県男女共同参画苦情処理委員から埼玉県教育委員会教育長あてに「県立高校の共学化」の勧告書が提出されたことを受けて、理事各位の意見を伺うとともに、今後の対応を協議しました。出席理事の大方の意見は「共学化反対」ですが、時代の流れの中でいずれ共学化される時期が来ることも念頭にあるとの意見もありました。

【結論】11月23日(金)開催予定の社員総会に向けて意見書(案)をまとめていく。



3. 令和7年度会員名簿の作成

令和7年度会員名簿の作成については、令和2年度の会員名簿と同様の形態で紙ベースの名簿を作成することとし、業者選定、事業費、情報収集から発送までの手順・個人情報の安全性確保を検討することになりました。



【20年前の県立高校の共学化勧告への動き】

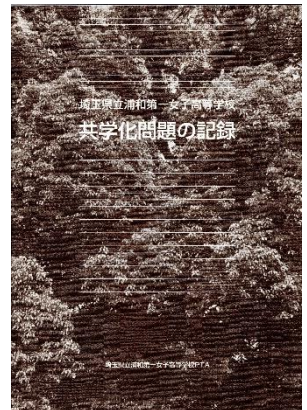
県立高校の共学化については、2000年に埼玉県男女共同参画推進条例が制定され、「県立高校の共学を望む」旨の苦情申請書が提出され、2002年3月に苦情処理委員から県教育長あてに「男女別学校の共学化を早期に実現する必要がある」旨の勧告が出され、翌年3月末までに取組報告が求められた。

これを受けて、県立別学各校のPTA会長、後援会長を中心として「男女共学と別学高校の共存を願う県民の会」を発足して勧告反対の署名活動を開始。生徒会やマスコミを含めてさまざまな議論が行われ、2002年10月に県民の会から「一律共学に反対する」27万1,981名の署名が埼玉県知事に提出された。同年10月以降、県内公立中学校長に対するアンケートや県議会での議論などもあり、2003年3月の県教育委員会で「当面は現状維持」を全会一致で決定し、苦情処理委員に報告書を提出した経緯がある。

【当時の記録】

2002年当時の経過を県立浦和第一女子高等学校PTAが「共学化問題の記録」という冊子で残されており、「男女共学と別学高校の共存を願う県民の会」を代表を務められたのが岩淵均様

(浦高18回卒、元浦高同窓会副会長)、当時の浦和一女PTA会長を務められていたのが高柳和之様(同22回卒)で、現在も浦高同窓会理事を務められているというのも因縁を感じますね。



●浦高同窓会、初冬の活動

◆浦高百年の森・秋の活動

18年目に入った「浦高百年の森」の秋の活動が11月12日(日)9時30分から寄居町風布で行われます。午後はミカン狩りです。

◆浦高生による「鳥人間コンテスト」チャレンジ!

琵琶湖で開催される鳥人間コンテストでプロペラ機では史上初の高校生による出場を目指して425万円を目標としたクラウドファンディングが始まりました。11月末が締め切りです。